

法務部門オペレーション インデックス 2021 取り残されたリスク

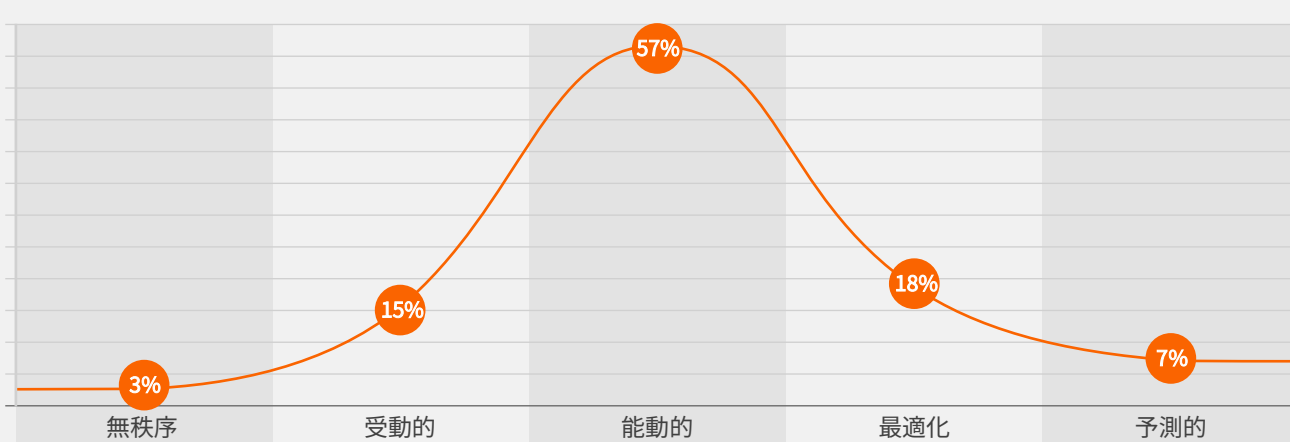
トムソン・ロイター®LDOインデックス第6版では、法務部門のオペレーションにおける重要な3つの分野（部門管理、支出、テクノロジー）について、以前から継続した変化に加えて新たな傾向が見られました。

ここでは、支出とテクノロジーに関する調査結果を詳しくご紹介します。

支出

支出管理の高度化が進んでいます。法務部門の82%が、自らの外部弁護士費用の管理について、「能動的」、「最適化」、または「予測的」なアプローチを採っていると認識しています。

2021年における高度化の水準



出典：トムソン・ロイター 2021

コストの管理について、多くの法務部門が「請求実務ガイドラインの一般的な実施」が最も効果的だと考えています。

効果的なコスト管理方法

86%の法務部門が、コスト管理のための標準的なベスト・プラクティスは「請求実務ガイドラインの一般的な実施」による請求コスト・料金の削減だと回答しました。

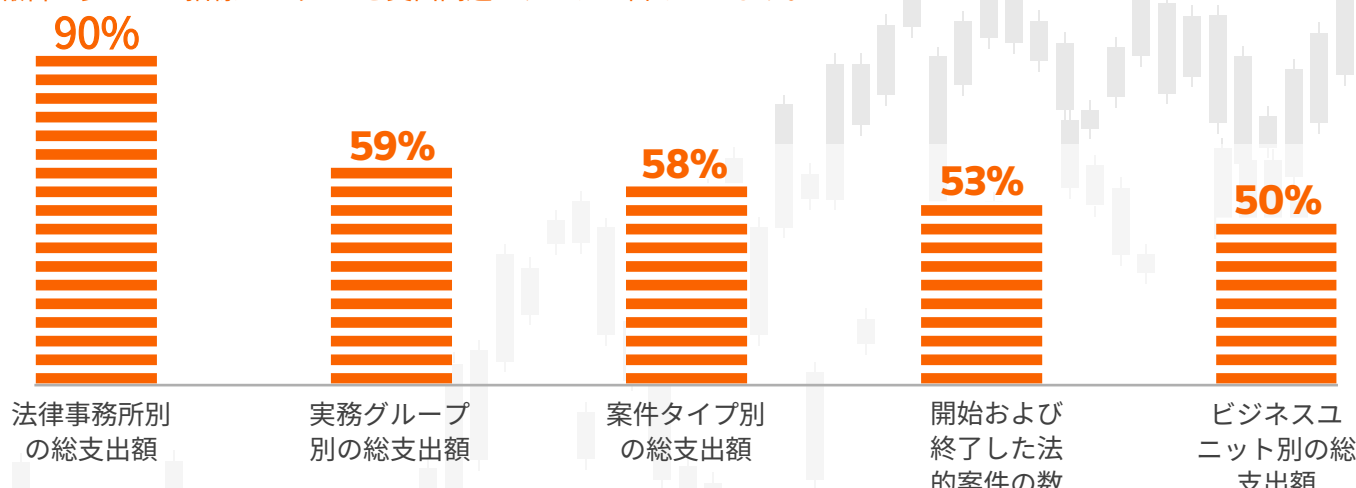
86%



データ主導型の法務部門へ

より適切な意思決定を行うため、法務部門はトムソン・ロイターのLegal Trackerなどのツールを使用して、様々な指標を測定・追跡・報告しています。データ主導型の組織になることで、法務部門は自分たちの価値を示し、より効率的に業務を行い、コストを削減することができるのです。

最も報告が多かった指標のトップ5を支出関連のデータが占めています。



法務関連の支出に関してより詳細かつ定量化可能な指標を測定する企業の法務部門が増えています。先進的な部門は、より幅広い要素のデータを測定しています。



16%

サイクルタイム - 案件を開始してから終了するまでの平均期間



18%

リーガルテクノロジーの利用によるコスト削減



16%

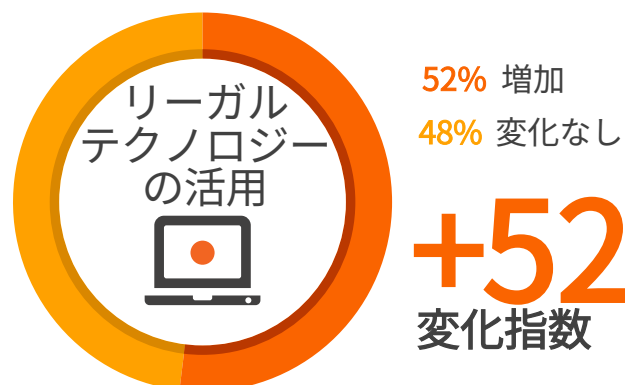
法的成果の質



16%

コスト回避 - 勝訴事案、迅速に解決した事案

テクノロジー

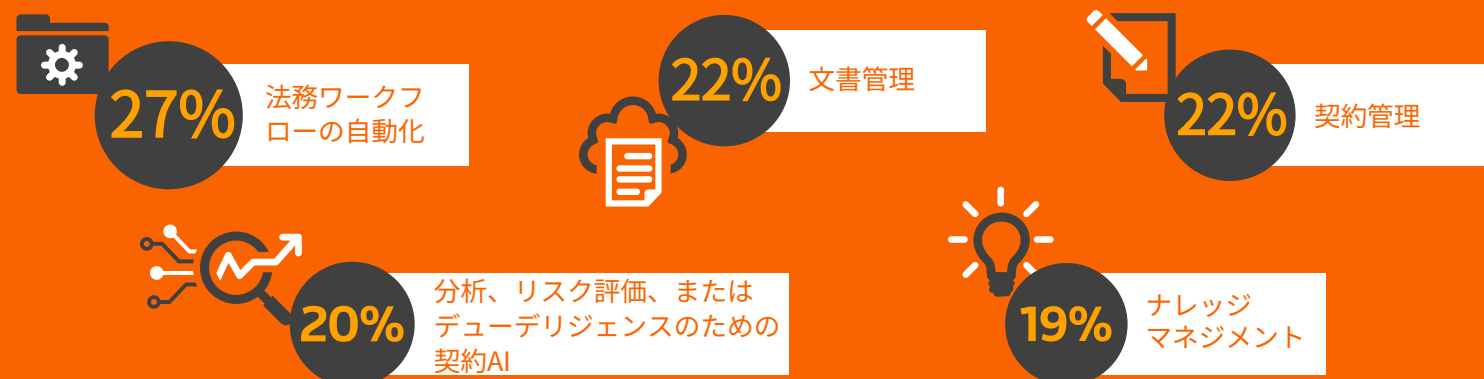


重要なリーガルテクノロジーの導入が拡大している

| テクノロジー | 利用率 |
|------------------------------------|-----|
| 電子請求書/支出・案件管理 | 97% |
| 電子署名 | 80% |
| 法務調査 | 74% |
| 契約管理 | 66% |
| リーガルホールド | 65% |
| 文書管理 | 63% |
| リーガル・ビジネス・インテリジェンス/ダッシュボード/アナリティクス | 58% |
| eディスカバリー | 54% |
| IP管理 | 51% |

法務部門は、保有しているテクノロジースタックをさらに発展させる方法を検討しています。

急成長しているソリューション - 今後24ヶ月以内にソリューションの調達を検討している法務部門



LDOインデックスの主な調査結果や部門管理に関する動向については、当社インフォグラフィックをご覧ください。

法務部門オペレーションインデックス2021: 取り残されたリスクをダウンロード